



## なりたの昆虫

成田市には田んぼがたくさんあって、オニヤンマ、アカトンボなどのトンボの仲間が多く見られるんだ。

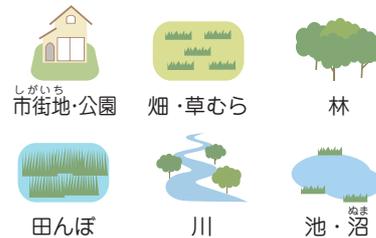


## マークの説明

見られる時期



見られる場所



### アオスジアゲハ

まちなかでもよく見られます。はねは黒色で、前ばねと後ろばねにエメラルドグリーン模様があります。幼虫はクスノキの仲間の葉っぱを食べて育ちます。

大きさ：30～45mm / 色：黒色、エメラルドグリーン / 食べもの：花のみつ



### コクワガタ

雑木林の他、公園の樹木などでも見ることができます。成虫で冬をこし、寿命は2～3年です。

大きさ：20～50mm / 色：黒色 / 食べもの：樹液



### ヒグラシ

スギ林・神社の林などにすんでいて、明け方や夕方の暗いときになくことが多いセミです。はねがとうめいで、きれいです。

大きさ：45mm 前後 / 色：茶色 / 食べもの：樹液 / なきごえ：カナカナ



### オオカマキリ

日当たりのよい草木の葉っぱの上で、他の昆虫がやってくるのを待ちかまえています。日本最大のカマキリです。

大きさ：70～90mm / 色：緑色、茶色 / 食べもの：バッタ、チョウなど



## ノシメトンボ

赤トンボの仲間<sup>なかま</sup>で、はねの先が黒いのがとくちょうです。まわりに林のある明るい池や沼<sup>ぬま</sup>・田んぼで多く見られます。

大きさ：40～50mm / 色：赤色、赤茶色 /  
食べもの：昆虫<sup>こんちゅう</sup>など



## オニヤンマ

林のそばの川や湿地<sup>しつち</sup>で多く見られる、日本で最も大きなトンボの一種<sup>いっしゆ</sup>です。黒に黄色のしま模様とエメラルドグリーン<sup>もよう</sup>の大きな目かとくちょうです。

大きさ：100mm / 色：黒色、黄色 /  
食べもの：昆虫<sup>こんちゅう</sup>



## ナナホシテントウ

農作物<sup>がいちゆう</sup>の害虫<sup>えきちゆう</sup>のアブラムシを食べるため、益虫<sup>えきちゆう</sup>（よいことをしてくれる虫）として大事にされています。体に7つの黒い点があることから、この名前がつけました。似ているテントウムシにナミテントウがいます。（「もっと知ろう！」も見てね）

大きさ：5～9mm / 色：体は黒色、前ばねは赤色に黒いはん点 / 食べもの：アブラムシ



## エンマコオロギ

オスは夜に“ヒヒヒヒヨヒヨヒヨ…”というもの悲しい声でなきます。顔にある白いまゆ毛<sup>もよう</sup>模様が「えんま様」の顔に見えるため名づけられた、本州<sup>もつと</sup>で最も大きなコオロギです。

大きさ：26～32mm / 色：こげ茶色 /  
食べもの：植物、死んだ昆虫<sup>こんちゅう</sup>



### もっと知ろう！

#### ●ナナホシテントウとナミテントウ

ナミテントウは、ナナホシテントウと大きさもすんでいる場所<sup>に</sup>も似ています。アブラムシを食べるのも同じですが、ナナホシテントウとちがいナミテントウは、いろいろな模様<sup>もよう</sup>をしています。

いろいろな模様<sup>もよう</sup>があるナミテントウ

